

プレスリリース

イタリア大使館貿易促進部 (ICE) とミラノサローネ: イタリア家具のためのパートナーシップ更新

第 57 回ミラノサローネ国際家具見本市は、2018 年 4 月 17 日(火) ~4 月 22 日(日)まで、ロー市見本市会場にて開催されます。

品質、技術革新に加え、併催イベントや豊富な出展品もミラノサローネが人々を魅了し続ける理由の一つです。

2,000 社を超える出展社、30 万人を超える来場者のミラノサローネは、20 万 m²を超える出展面積に何万もの新作が毎年発表される国際見本市です。

サローネ国際家具見本市、サローネ国際インテリア小物見本市は、クラシック、デザインに加え、ラグジュアリーブランドを集めた xLux が一昨年から登場し、3 カテゴリーに分かれています。2018 年の隔年開催見本市は、エウロクチャーナとその併催見本市、FTK (テクノロジー・フォー・ザ・キッチン)、サローネ国際バスルーム見本市を開催。そして若手デザイナーのためのサローネサテリテ展が同時開催されます。

「ミラノサローネはメイド・イン・イタリアを世界に広める重要な役割を果たしています。」と話すのは ICE 社長のミケーレ・スカンナヴィーニ。「2017 年、イタリア家具の輸出高が 143 億ユーロ、前年比 3.1%の伸びを記録したことや、欧州市場やアメリカや中国といった遠い国への輸出が伸びていることは、イタリア家具質の高い革新性と創造性が生み出した結果と言えるでしょう。見本市が始まって以来、業界の関心を集め、海外からの業界関係者やバイヤー、建築家、インテリアデザイナーやジャーナリストの来場を促進するため、ICE は見本市の主催者であるイタリア家具工業連盟と積極的に協力してきました。

今年、ICE とイタリア家具工業連盟は、20 カ国なら 74 人の新しいオペレーターを見本市会場へ招き入れました。インドネシア、ベトナム、ガーナ、ナイジェリア、アンゴラ、南アフリカ、英国、米国、メキシコ、中国、日本、ロシア、サウジアラビア、カザフスタン、インド、そしてバスルーム部門にはフランス、スペイン、スイスから新規オペレーターが来場します。

2017 年 10 月にイタリアのジェンティーニ首相がインドのモディ首相と、次回のハイ・レベル・フォーラム開催にてインドとの商業および産業のコラボレーションに合意したことから、今年、見本市期間中に ICE とイタリア家具工業連盟のラウンドテーブル・ディスカッションが行われます。

ICE は、イタリアの家具輸出を、特に主要な市場である中国、アメリカ、ロシア、メキシコ、日本、ベトナムで、2018 年から 2019 年の間に、一連のプロジョーションイベントを予定しています。これらの活動は、イタリア企業を支援するために、ミラノサローネと隔年開催の建築建材見本市、MADE エキスポ（ミラノサローネと同じ主催社）の断続的な広告キャンペーンやアメリカの店舗プロジョーションを行い、業界関係者やデザイナー、バイヤーなどの来場者と共に海外の主要産業地区とビジネスミッションとの B2B を促進します。

Communication Office and External and Institutional Relations

Tel.: 06 59926991 - E-mail: stampa@ice.it